

市測協だより

(第47号)

平成26年8月発行

一般社団法人 福岡市設計測量業協会

福岡市中央区薬院1丁目6番16号
〒810-0022 百田興産ビル201号
TEL (092) 751-8246
FAX (092) 751-2271

<http://f-shisokukyo.or.jp>
e-mail: info@f-shisokukyo.or.jp

福岡市農林水産局長
松本友行



晩夏の候、貴協会会員の皆様におかれましては、
日頃より本市事業の推進に多大なる貢献をいただき深く感謝申し上げます。

また、設計測量技術に関しまして、高い技術力を保持し続けるため、技術研究や研鑽を積まれるとともに、昨年、締結させていただきました「防災支援活動に関する基本協定書」に基づき、災害に対応する体制の拡充強化に取り組まれるなど、貴協会の活動に深く敬意を表します。

本市は、山や海、また身近な緑に恵まれた自然豊かな街であり、市域の4割を占める農地及び森林や博多湾は、国土保全、温暖化防止、水源かん養といった公益的な機能を発揮しておりますとともに、多彩な自然環境とのふれあいや潤いのある景観の形成など、その恩恵は都市部を含め広く市民が享受しており、本市の大きな魅力を創出しております。

本局は、これらの機能や魅力をあわせ持つ農林水産業の活性化のため、「福岡市農林業総合計画(平成24～28年度)」及び「福岡市水産業総合計画(平成24～28年度)」に基づき、「豊かな市民生活を支える活力ある農林業の振興」と、「次世代につなぐ魅力ある水産業の振興」に努め、生産基盤の整備・維持等により、農林水産物の生産の安定・増加を図るなど、農林水産業の振興に取り組んでまいります。

また、青果部3市場を統合し、アイランドセンターに新設する新青果市場の工事に昨年度着手し、平成27年度末の開場に向けて、整備を進めているところでございます。

貴協会会員の皆様におかれましては、今後とも農林水産行政の推進にあたりまして、更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝、ご繁栄を心よりお祈りいたしまして挨拶とさせていただきます。

西区西の浦 写真提供：福岡市
撮影者：Fumio Hashimoto

一般社団法人 福岡市設計測量業協会(市測協)会員はふくおかを愛し、ふくおかの発展に全力をつくします。

ご挨拶

一般社団法人福岡市設計測量業協会
会長 尾川 昇

このたび、(一社)福岡市設計測量業協会の会長職を
拝命致し、改めてその重責を感じております。

皆様、ご存知の通り福岡市は、大都市並みの支店経済です。従って、地場コンサルタントとしての棲み分けが、非常に難しいところでもあります。そのわけは先ず、中央大手における、支店の集中、更に有資格者や多方面にわたる実績等、発注者側において安心して任せることが出来ます。しかし、公共事業等は、国からも地元で出来ることは地元業者でと指導しています。

その中であって、いかに地場コンサルとしての棲み分けを図るかは、喫緊の課題であります。当然、地元企業の結束が必要不可欠となります。そこで、当協会は、第一番目として、役員一同会員勧誘のメリットと、入会促進の活動を検討し直ちに実行致します。

第二番目としては、積極的に「見える化」を推進する事とし、防災協定に伴う、防災演習(他業種との連携)次に、飲酒運転の撲滅運動への参画、そして、道路破損等の状況調査等の活動を、行政当局の方々とコミュニケーションを取りながら、一般市民の方々と一体となって実行致します。

今回の役員構成は、お蔭様で若くて優秀な有資格者が、勢ぞろいしています、そこで、中央大手に負けないスタッフで船出いたします。又、成果品の納入については、お互いに研究と研鑽を怠ることの無いように、横の連絡を密におこないます。更に、引き続き技術士、RCCM等の受験援助も行なうほか、会員の社員の方々への技術向上に寄与したいと思います。

最後になりますが、当協会を取り巻く環境は決してハッピーではありません。ややもすると、入札に臨む業者の心構えとして、思慮不足なところが一部見受けられます。発注者としては、適正な価格で処理されることを望んであるはずです。その為にも一社でも多く、当協会に入会をお願い致したく会員の皆様に切にお願いいたします。

理事会報告



1月21日 ・福岡市へのPR活動実施報告
・役員選挙管理委員会日程について
・平成26年新年賀詞交歓会進行について

2月13日 ・役員選挙管理委員会報告について
・用地測量業務について
・市測協だより修正について
・測量体験学習について

3月24日 ・役員選挙管理委員会報告について
・平成25年度決算見込み・26年度予算等について
・平成26年度事業計画について
・防災支援活動実施報告及び
平成26年度実施計画について
・各分会報告について

4月14日 ・平成25年度事業・決算報告について
・平成26年度事業計画・収支予算書について
・総会付議案について
・測量の日について

5月23日 ・総会の進行について
・測量の日について
・飲酒運転撲滅宣言について

6月10日 ・行政連絡協議会編成について
・各分会の組織編成について
・測量の日行事報告について
・新規会員の勧誘について
・会員名簿作成について

7月 4日 ・各分会の組織編成について
・行政連絡協議会編成について
・福岡市へのPR活動について
・市測協だより(第47号)について
・平成26年度経営者研修会について
・平成26年度技能功労者表彰者推薦について

平成26年度通常総会開催

5月23日、アークホテルロイヤル福岡天神において、平成26年度通常総会を開催した。

九州技術協力㈱の渡辺徹氏を議長に議事が進められ、平成25年度の事業報告及び収支決算報告が承認された。

また、今年度役員改選に伴い、都市企画センター㈱の尾川昇氏を新会長に選出した。

平成26年度事業計画には、従前からの事業継続と「防災支援活動に関する基本協定書」に基づく行動計画等の拡充強化、「見える化的行動規範」の推進事業の一環として「飲酒運転撲滅活動」や「道路管理瑕疵に関する情報提供」等、社会貢献活動の実施を柱としての体制づくりをすることが新役員から報告された。



▲平成26年度通常総会



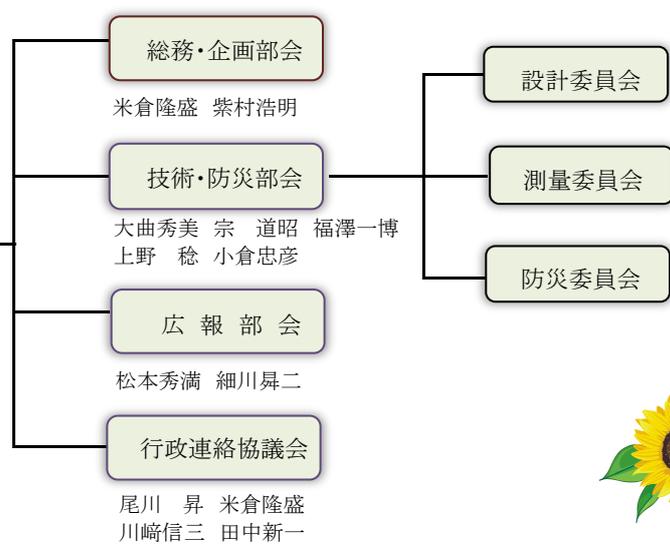
▲飲酒運転撲滅宣言書を読み上げる新理事の宗理事

今期で役員を退任された8名の方に、尾川新会長より感謝状が手渡された。皆様、永い間、協会にご尽力いただき誠にありがとうございました。

▲左から 上田欽三氏、木本達氏、大塚憲一氏、深水賢治郎氏、村田嘉文氏、木村麟太郎氏、中村亨氏、山崎雅文氏

- 26年度の取組方針
- ・防災支援活動に関する活動拡充強化
 - ・飲酒運転撲滅活動
 - ・道路管理瑕疵に関する情報提供

会 長 尾川 昇
副会長 米倉隆盛
副会長 川崎信三



新役員紹介	会 長 尾川 昇	都市企画センター㈱	理 事 細川昇二	共和航業㈱
	副会長 米倉隆盛	第一総合技術㈱	理 事 紫村浩明	㈱コンテック
	副会長 川崎信三	大正測量設計㈱	理 事 宗道昭	㈱昭和建設コンサルタント
	理 事 田中新一	㈱アイエスプランニング	理 事 福澤一博	㈱スリーエヌ技術コンサルタント
	理 事 上野 稔	㈱アオイ	理 事 大曲秀美	大洋建設コンサルタント㈱
	理 事 小倉忠彦	㈱アースプランニング	監 事 叶 信彦	九州コンサルタント㈱
理 事 松本秀満	㈱エムテックエンジニアリング	監 事 高橋義信	高橋公認会計士事務所	

福岡市の土木遺産－曲渕ダムとその周辺

曲渕ダムは、福岡市街から国道263号線で三瀬峠に向かう途中の曲渕地区にある上水道専用の重力式ダムです。

ダムの下流には「曲渕ダムパーク」が整備・公開されており、周辺の緑豊かな環境とともに、市民の憩いの場となっています。

当ダムは、大正12年に完成した福岡市で最も古いダムで、当時は1日当たり15,000m³を給水し、35,000人の市民の生活を支えていました。

その後、昭和9年と平成4年に嵩上げ工事、補強工事などが行われており、有効貯水量は創設時の1,422千m³から2,368千m³まで増加しています。

構造的な特徴は、堤体の表面(上流下流とも)に御影石を積み上げて型枠とし、その内側を現地採取の転石を投入してコンクリートを充填した粗石コンクリート造です。

完成当時の大正時代にはコンクリート造は非常に珍しく、九州では長崎の軍艦島に次ぐものですが、現役の構造物として見れば最古参ということになります。

ダム建設のときの資材運搬は、市内から現場までレールを敷設し軌道を建設し、その上に馬車を走らせて作業の効率化を図ったそうで、先人の苦勞と工夫に敬服します。

曲渕ダム付近は意外に歴史が古く、「筑前国続風土記」によれば、戦国時代の元龜・天正(1570～1592)の頃、曲渕河内守助次・氏助・信助の三代が治めていたそうです。曲渕河内守は、元々鍛冶屋だった甚五兵衛が戦乱に乗じて成り上がった一族で、高祖城(現在の糸島市高祖)の原田氏に属していたそうです。その勢力は、早良郡十一ヵ村(石釜、西、金武、四箇、次郎丸、田、七隈、荒江、鹿原等)に及んでいましたが、天正15年(1587)に原田氏が九州征伐に來た豊臣軍に滅ぼされると、曲渕氏も滅んでしまい、以降は浪人になったと伝えられています。

城跡には山神社が鎮座してありますが、曲渕ダム建設に伴って水没することになったため、この地に移築されたそうです。

国道から鳥居を潜り、石段(137段)を登ると閑静な境内があり、お社が鎮座してありました。

城跡の広さは、案内看板には東西十五間、南北二十間と書いてありましたが、建物の配置がゆったりしているためか、意外と広く感じました。

曲渕ダムパークに遊びに来られたときは、ここにも寄道されることをお勧めします。

ここで耳寄りの情報。曲渕地区には古くから言い伝えられている歌詞があるそうです。

朝日さす夕日ちらちら木の下

小(黄)金千両朱千両埋め置く(早良郡誌)

お祭りの通り、埋蔵金伝説です。湖底は定期的に浚渫されていますが、今のところ、掘り当てたとの話はないそうです。

曲渕ダムパークで花見も良いですが、土木遺産を訪ねて散策するのも良いのではないのでしょうか？

もしかしたら、埋蔵金が見つかるかもしれませんよ。



▲ 曲渕ダム

河川系	室見川水系八丁川
目的	上水道
型式	重力式コンクリートダム
堤高／堤頂長／堤体積	45m／160.6m／82千m ³
総貯水量／有効貯水量	2,608千m ³ ／2,368千m ³



▲ 曲渕城跡:現在は山神社となっている



▲ 山神社の境内:城跡だけに意外と広い

体験 学習

三筑小学校6年生・測量体験学習

立春とは言え、まだまだ寒い2月5日、福岡市立三筑小学校6年生の児童101名と、井上校長先生、担任の佐々木先生・宮田先生・泰松先生の方々に「測量」の体験学習を行って頂きました。

特に校長先生は児童に負けないくらい元気に頑張っておられました。

三筑小学校の傍にある福岡国土建設専門学校の先生方から、古代エジプトやメソポタミア文明の時代からの測量の歴史や、小学校で習っている算数が、現代社会でどのように役立っているかとの説明を聞いた後、実際に簡単な測量器具(アリダード)を使って運動場から校舎の屋上までの高さを測ってもらいました。

体験日当日に使用したアリダードは、定規の両端に0.2^{ミリ}～0.4^{ミリ}の覗き穴を開けた板と、定規の長さの1/100で目盛を刻んだ板に馬毛などを張った板の簡単な3枚構造で出来ています。

近年までこのアリダードを使って作成された地図で土木設計・工事がなされ、日本の近代化に貢献しました。

児童たちは、アリダードを使って校舎の高さ測定し、15.55mの値を算出しました。実際に最新の測量機器(トータルステーション)を使って測定した値(15.62m)と僅か7cmのズレにビックリです。また、周辺のマンションまでの距離当てクイズや、測量機器に触れるなど楽しく学習していました。

今回の測量体験学習を機に、街で測量している私たちの傍を素通りしていた子ども達が、『アア～、測量している!』と興味を持ってくれると嬉しいですね。



▲ 真剣に計算している児童たち



▲ トータルステーションで測定中!



▲ 準天頂衛星初号機「みちびき」

電子基準点と観測衛星について

国土地理院にて、測量における基準点の一つとして、GNSSの連続観測点としての電子基準点は、全国の地殻変動を調べるために1995年より現在まで、約1200箇所以上、約20km間隔に設置されています。

福岡市としては東区の志賀島にあり近郊では古賀、前原などにあります。設置年度により、多少形の違いはありますが、高さ約5mのステンレスのタワーで上に衛星からの電波を受信するアンテナが取り付けられています。

地殻変動における解析可能精度は1cm以下で、数年に一度、基礎の水準測量とタワーの傾きの点検を行っています。

今後は、基準点測量の方法もいままでと大きく変わり、電子基準点のみを既知点としての測量に変わる予定です。

今までは全国にある一等～四等三角点や、1・2級基準点を基準にいろいろな測量の基本にしてきましたが、今後は電子基準点のみの使用での測量に変わる予定です。

また、水準測量においても、今までの様に水準点を調べ、レベルにて水準測量をする必要が、3級水準点の設置は、電子基準点のみで出来るようになります。

国土地理院では「スマート・サーベイ・プロジェクト」と称して、先ほどの電子基準点のみを既知点とした基準点マニュアルと、GNSS測量による標高の測量マニュアルの2つを測量業務の効率化を図る目的で策定しました。

GNSSとは全地球航法衛星システムのことで今まではアメリカのGPS衛星が一般的でしたが、ロシアのグロナス、ヨーロッパのガリレオが加わっています。

また、中国やインド等も打ち上げています。日本では2010年に準天頂衛星として「みちびき」を打ち上げ、GPSと連携して準天頂衛星システムの運用を推進しています。

2017年より順次打ち上げ、2019年よりは4機体制でほぼ日本中をカバーできる予定で進めています。そうなれば今まで数十m位の誤差も数cm位の誤差になる位の精度が見込まれます。都市でのビルの谷間や、高い山間地にて受信しづらかった場所でも測りやすくなる予定です。

電子基準点と衛星システムにより測量も将来大きく変わり、早く、正確に位置情報が配信されることでしょう。

平成26年度RCCM資格試験の支援

平成25年11月10日に行われたRCCM資格試験は、当協会から12名(6社)の受講者に支援を行った結果、3名の方が合格されました。

受講者が苦慮している「業務管理技術力」の添削を5名の講師が重点的に支援したことが功をそうしたものと考えます。

試験時間を想定した模擬試験を2回実施し、論文筆記の緊張感も体験してもらいました。

会社が違う技術者と会うことで、競争力や試験に対する取り組みも感じてもらえると思います。

まだまだ、合格率が低いですが、平成26年度も設計委員会で支援を考えていますので、ぜひ挑戦してください。

この受講生から近い将来「技術士」が誕生することを願っています。

平成25年度合格者名 下水道部門 首藤 俊博 谷脇 貴宏
道路部門 久保 徹也



測量成果点検技術者合格者発表

当協会では、計画機関の監督員に代わって、測量成果を点検する点検技術者を養成し、測量成果の品質の安定的な確保に貢献し、測量成果使用者に安全・安心な成果の提供に寄与する事を目的に、講習会及び認定試験を平成26年3月28日に実施しました。

更新者及び新規合格者は次のとおりです。

更新者名	村田 嘉文	新規合格者	岡田 茂
	赤澤 進		小関 真宏
	梅林 伸二		佐藤 哲郎
	小倉 一生		佐藤 祐樹
	大坪 啓輔		立石 純
	前田 真樹		田中 健次
	増崎 満徳		輝 公夫
	松本 秀満		森山 由浩
	山本 正敏		山田 利一



▲ 試験問題に取り組む受験者

ホームページリニューアルしました

当協会は、設計測量業の技術の向上と設計測量業の健全な発展を図るため、会員の指導及び連絡に関する事務を行い、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的として設立された一般社団法人です。

ふくおかを愛し、ふくおかの発展に全力を尽くします

一般社団法人
福岡市設計測量業協会

新会員紹介

平成25年度に入会された会員の方々

【株式会社イーディシー】

この度、福岡市設計測量業協会に入会しました、株式会社イーディシーでございます。

測量・調査・GISを主体業務として24年間運営して参り、24年目にしようやく加入した次第です。

公共事業を通じ、国家の繁栄の為の手助けを少しでもできれば幸いと思ひ、日々活動を続けております。

何かと会員の皆様にお世話になると思ひますが、今後とも宜しくお願い申し上げます。

弊社の社名となっている「EDC」は、Environment(環境)、Database(データベース)、Cartography(地図製作)の略であり、社会資本整備の一端を担う技術系企業として、環境をテーマに地域社会への貢献を図っていこうという思いが込められています。

福岡市中央区港2丁目4番31号
TEL 092-716-3611

【ダン技術設計株式会社】

当社は、平成8年4月設立以降、橋梁・道路・河川の設計、測量を主体として、会社を運営しております。

特に、橋梁設計・構造物設計・道路設計に関しましては、長年、些少ではありますが、実績を積んでまいりました。

その実績を糧に、誠実・信頼を基本理念として、政府のめざす『強しなやかな』国土づくりである、国全体としての強靱性化事業の一端に携わっていければ喜ばしいと思ひます。



<http://daneng.jp/>

福岡市南区塩原3丁目8番28号
TEL 092-408-8821

【日本ヒューム株式会社】

創業以来、画期的な製品を数多く開発・提供し、各時代におけるさまざまなニーズに的確に対応してきました。今日では蓄積されたコンクリート製品製造技術を基軸に「地下から地上へ」というコンセプトのもと、たゆまぬ技術開発により地域の環境づくりに貢献する新たな製品を提供してまいります。

<http://www.nipponhume.co.jp/>
日本ヒューム株式会社

福岡支社: 福岡市博多区下呉服町2丁目29番地
TEL.092-283-5155(代)

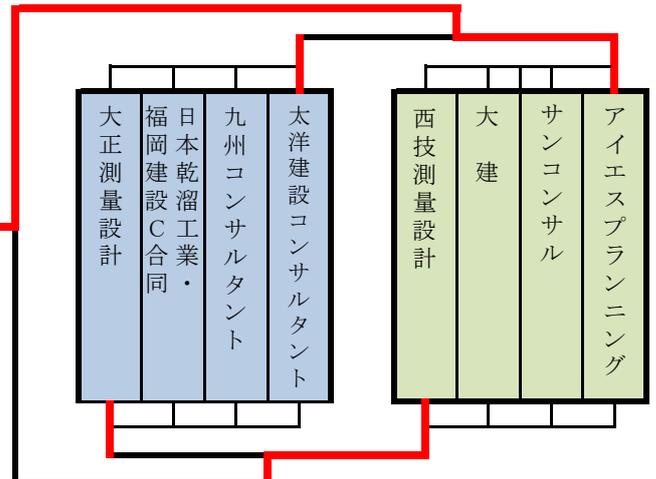
ソフトボール大会開催

5月16日、五月晴れの日差しの中、東区雁ノ巣レクリエーションセンターにおいて第30回ソフトボール大会を開催した。参加8チームによる好プレーが続出するなか、アイエスプランニングチームがトーナメントを制し、連続優勝を飾った。



▲優勝:アイエスプランニングチーム

優勝
アイエスプランニング



設計部門 34社

㈱アジア建設コンサルタント エコーエンジニアリング 極水設計 ㈱サンコンサル ㈱新世コンソーシアム 大洋建設コンサルタント ㈱大建 都市企画センター ㈱不動エンジニアリング	朝倉コンサルタント ㈱エム・ケー・コンサルタント ㈱クマガイ設計測量事務所 産業開発コンサルタント ㈱スリーエヌ技術コンサルタント ㈱大陸総合コンサルタント ㈱東洋技術コンサルタンツ ㈱野田土木設計事務所 メック	㈱旭建設コンサルタント ㈱エムテックエンジニアリング 玄洋技術 ㈱シテイ・シビル・コンサルタント ㈱西部技術コンサルタント ㈱拓研コンサルタント ㈱トキワ・シビル 福岡建設コンサルタント	エイコー・コンサルタンツ 九州コンサルタント 五光設計 ㈱昭和建設コンサルタント ダン技術設計 第一総合技術 ㈱都市計画設計事務所 ㈱富士総合技術コンサルタント
--	--	--	---

測量部門 37社

㈱アイエスプランニング ㈱イーディシー 栄和測量設計 共和航業 ㈱光陽測量設計 新日本測量設計 大正測量設計 大樹測量設計 ㈱中村測建 芳野測量設計	㈱アオイ 井野測量設計 ㈱ガイア ㈱九州技術協力 ㈱国土調査事務所 ㈱セイワ測量設計 ㈱高田工務所 ㈱デヴァイス藤原 西技測量設計	㈱アースプランニング ㈱エイティティ福岡 春日総合技術 九州測量設計 三栄測量設計 ㈱測栄舎 ㈱大高開発 ㈱トーコン 福岡総合技術コンサルタント	㈱イズミ 榮邁測量設計 基洲測量 ㈱コンテック ㈱ジオ ㈱タイセイ技建 大光技術コンサルタント ㈱豊田工務所 ㈱明和技研
---	---	--	--

賛助会員 18社

大野コンクリート ㈱実測 日本地研 福井コンピュータ 水谷建設工業	㈱カクマル ㈱ジオテック技術士事務所 日本ヒューム ㈱松尾測機 ㈱ヤマウ	㈱柏木興産本店 ㈱シテイプラン 福岡コンクリート製品協同組合 松永測機	㈱九コン 日本乾溜工業 ㈱福岡ヤマックス ㈱水上洋行
---	--	--	-------------------------------------

お知らせ

【代表者変更】

・新日本測量設計 代表取締役 神田 政幸 (平成26年 6月)

【住所変更】

・㈱タイセイ技建 〒815-0042 福岡市南区若久3丁目15-27-305 電話・FAX変更無 (平成26年 7月)

一口メモ

節電と猛暑が重なり、今年の夏も、熱中症対策が必要です。

熱中症を防止する7か条

- ① こまめに水分の補給をする
- ② こまめに体温を測定する
- ③ 通気性の良い、吸湿・速乾性のある衣服を着用する
- ④ 外出時には帽子を着用したり、日傘を使う
- ⑤ エアコンや扇風機を使用し温度を調整する
- ⑥ 緊急の場合には、涼しい場所へ避難
- ⑦ 熱中症予防を呼びかけあう

熱中症になった人がいるときの処置は、(1)涼しい場所へ避難、(2)衣服を脱がせ、体を冷やす、(3)水分・塩分を補給。

(一社) 日本生活習慣病予防協会HPより引用

